平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年２月13日

上 場 会 社 名	株式会社ミクシィ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2121	ＵＲＬ	http://mixi.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	朝倉　祐介
問合せ先責任者	（役職名） 取締役最高財務責任者	（氏名）	荻野　泰弘　　（TEL）　03-5738-5900
四半期報告書提出予定日	平成26年２月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	6,357	△35.9	△509	―	△636	―	△1,573	―
25年３月期第３四半期	9,922	4.1	2,342	69.0	2,349	91.6	1,621	241.7

（注）包括利益 26年３月期第３四半期 △1,481百万円（－%）　25年３月期第３四半期 1,631百万円（251.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第３四半期	△105.40	―
25年３月期第３四半期	108.61	108.51

（注）１．平成26年３月期第３四半期の「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
２．当社は、平成25年４月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	17,623	14,479	81.8
25年３月期	20,083	16,291	80.8

（参考）自己資本　　26年３月期第３四半期　14,415百万円　25年３月期　16,224百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	0.00	―	2,200.00	2,200.00
26年３月期	―	0.00	―		
26年３月期(予想)				0.00	0.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
２．当社は、平成25年４月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、平成25年３月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
３．平成26年３月期の期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。詳細につきましては、平成25年10月１日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照ください。

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　　期	11,500	43.8	200	―	100	―	△350	―	△23.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
　　新規　－社　　（社名）　　、除外　－社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　② ①以外の会計方針の変更　　：無
　③ 会計上の見積りの変更　　：無
　④ 修正再表示　　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,510,600株	25年3月期　15,510,600株
②	期末自己株式数	26年3月期3Q	575,600株	25年3月期　578,600株
③	期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,932,349株	25年3月期3Q　14,928,226株

（注）当社は、平成25年４月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下さる様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）P. ４「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２．当社は、平成26年２月13日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	9,922	6,357	△35.9%
営業利益又は営業損失(△)(百万円)	2,342	△509	－%
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	2,349	△636	－%
四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	1,621	△1,573	－%
アプリ会員数	897万人 (平成24年12月)	1,514万人 (平成25年12月)	―

(注) アプリ会員数は、当社グループ提供のスマホアプリダウンロード数の積算値（当社調べ）になります。
なお、「モンスターストライク」のアプリ会員数は含まれておりません。

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策への期待感から円安・株高が進行し、個人消費や企業業績の一部に持ち直しの動きが見られたものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧州経済の長期低迷等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

インターネット関連業界におきましては、「2012年度通期国内携帯電話端末出荷概況」（株式会社MM総研）によりますと、平成24年度のスマートフォン出荷台数は前年度比23.0%増の2,972万台で総出荷台数の71.1%となり、スマートフォンへの移行が加速しております。

このような経済環境の中、当第３四半期連結累計期間の売上高は6,357百万円（前年同四半期比35.9%減）となり、営業損失は509百万円（前年同四半期は営業利益2,342百万円）、経常損失は636百万円（前年同四半期は経常利益2,349百万円）となりました。また、当社における繰延税金資産の回収可能性を将来の不確実性を含め慎重に検討した結果、繰延税金資産を第２四半期会計期間において全額取崩したこともあり、四半期純損失は1,573百万円（前年同四半期は四半期純利益1,621百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ソーシャルネット事業

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	9,159	5,194	△43.3%
広告売上高（百万円）	3,823	1,132	△70.4%
課金売上高（百万円）	5,336	4,061	△23.9%
セグメント利益(百万円)	3,535	1,002	△71.6%

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、「つながりをつくる」というサービス価値の最大化に向けた取組みを推進しております。スマートフォンデバイスの普及に対応するため、主要機能のスマートフォンアプリの提供を開始しております。また、コミュニティ・ニュースの情報の一部をインターネット検索の対象にすることにより、同じ趣味・関心を持つ人同士を「mixi」でつなげ、サービスの活性化を図ってまいりました。

加えて、新しい取組みとして平成25年10月に提供を開始した、スマートフォンネイティブゲーム「モンスターストライク」は、簡単な操作で誰でも楽しめること、一緒にいる友人と協力する仕組み（マルチプレイ）により、テストマーケティング期間であるにもかかわらず、12月に利用者100万人を突破し、順調に利用者を拡大してきております。

収益面では、「モンスターストライク」の売上が順調に成長していることもあり、課金売上高に回復の兆しが見えてきております。一方、広告売上においては、デバイス環境の変化等の影響から広告売上高が減少しておりますが、アドネットワーク広告の強化により、下げ止まりつつあります。

この結果、当事業の売上高は5,194百万円（前年同四半期比43.3％減）、セグメント利益は1,002百万円（前年同四半期比71.6％減）となりました。

② Find Job !事業

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	729	609	△16.4％
セグメント利益(百万円)	598	472	△21.1％

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることで収益の拡大を目指してまいります。しかしながら、IT業界において一部採用抑制などの動きが見られることもあり、当事業の売上高は609百万円（前年同四半期比16.4％減）、セグメント利益は472百万円（前年同四半期比21.1％減）となりました。

③ その他

インターネットリサーチやフォトブックサービス「ノハナ」、結婚支援事業等の新規事業を行っております。

インターネットリサーチにおいては、７月に「mixi」ユーザー向けのネットリサーチの提供開始するとともに、12月に店舗等での覆面調査を行うミステリーショッピングサービス「ショッパーズ・アイ」を取得しております。

また、「ノハナ」におきましては、会員数が順調に増加しております。さらなる事業拡大を図るため９月に完全子会社として株式会社ノハナを設立するとともに、11月より新サービスとして「ノハナ年賀状」を提供いたしました。

加えて、11月に街コンイベントを運営する株式会社コンフィアンザの全株式を取得し、12月に結婚支援事業を運営する株式会社Diverseの全株式を取得しております。

この結果、当事業の売上高は554百万円（前年同四半期は33百万円）、セグメント損失は442百万円（前年同四半期はセグメント損失133百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第３四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が13,533百万円（前連結会計年度末比3,183百万円減少）となり、主な要因としては、現金及び預金と売掛金の減少があげられます。固定資産は4,089百万円（前連結会計年度末比724百万円増加）となり、主な要因としては、子会社株式取得に伴ってのれんが増加したことがあげられます。

負債については、流動負債が3,116百万円（前連結会計年度末比614百万円減少）となり、主な要因としては、未払法人税等及び預り金の減少があげられます。固定負債は27百万円（前連結会計年度末比32百万円減少）となりました。純資産は14,479百万円（前連結会計年度末比1,812百万円減少）となり、主な要因としては、利益剰余金の減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて428百万円増加し、9,628百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は570百万円（前年同四半期は1,940百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が704百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は1,231百万円（前年同四半期は677百万円の使用）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が925百万円、投資有価証券の取得による支出が408百万円、事業譲受による支出が303百万円となった一方で、定期預金の払戻による純収入が3,000百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は327百万円（前年同四半期は137百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年10月１日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,199	10,628
売掛金	3,266	2,610
その他	361	348
貸倒引当金	△110	△53
流動資産合計	16,717	13,533
固定資産		
有形固定資産	916	669
無形固定資産		
のれん	178	1,036
その他	99	132
無形固定資産合計	277	1,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,192	1,322
その他	1,048	1,003
投資損失引当金	△68	△70
貸倒引当金	△1	△3
投資その他の資産合計	2,171	2,251
固定資産合計	3,365	4,089
資産合計	20,083	17,623
負債の部		
流動負債		
未払金	925	882
未払法人税等	377	63
預り金	2,116	1,751
資産除去債務	－	27
賞与引当金	197	93
ポイント引当金	－	30
その他	114	267
流動負債合計	3,731	3,116
固定負債		
資産除去債務	21	－
その他	38	27
固定負債合計	59	27
負債合計	3,791	3,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	10,409	8,499
自己株式	△1,690	△1,681
株主資本合計	16,220	14,318
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4	96
その他の包括利益累計額合計	4	96
新株予約権	67	58
少数株主持分	－	4
純資産合計	16,291	14,479
負債純資産合計	20,083	17,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	9,922	6,357
売上原価	2,838	2,309
売上総利益	7,083	4,048
販売費及び一般管理費	4,740	4,558
営業利益又は営業損失（△）	2,342	△509
営業外収益		
受取利息	6	3
為替差益	－	37
投資事業組合運用益	21	－
その他	7	12
営業外収益合計	36	53
営業外費用		
持分法による投資損失	28	152
投資事業組合運用損	－	15
その他	0	12
営業外費用合計	29	180
経常利益又は経常損失（△）	2,349	△636
特別利益		
関係会社株式売却益	406	0
新株予約権戻入益	7	15
特別利益合計	413	15
特別損失		
固定資産除売却損	59	11
減損損失	－	71
のれん償却額	56	－
特別損失合計	115	82
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,647	△704
法人税、住民税及び事業税	799	184
法人税等調整額	227	685
法人税等合計	1,026	869
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,621	△1,573
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,621	△1,573

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,621	△1,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	－
為替換算調整勘定	10	92
その他の包括利益合計	10	92
四半期包括利益	1,631	△1,481
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,631	△1,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,647	△704
減価償却費	348	241
減損損失	－	71
のれん償却額	97	82
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△18	△57
賞与引当金の増減額（△は減少）	△81	△111
受取利息及び受取配当金	△6	△3
為替差損益（△は益）	△12	△24
持分法による投資損益（△は益）	28	152
投資事業組合運用損益（△は益）	△21	15
固定資産除売却損益（△は益）	59	11
関係会社株式売却損益（△は益）	△406	△0
売上債権の増減額（△は増加）	1,248	713
未払金の増減額（△は減少）	△203	△94
未払消費税等の増減額（△は減少）	32	△56
預り金の増減額（△は減少）	△292	△367
その他	△43	51
小計	3,375	△77
利息の受取額	8	5
法人税等の支払額	△1,443	△498
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,940	△570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,500	△2,000
定期預金の払戻による収入	4,500	5,000
有形固定資産の取得による支出	△39	△40
無形固定資産の取得による支出	△9	△77
投資有価証券の取得による支出	△165	△408
投資有価証券の分配による収入	54	92
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△23	△925
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△12	－
関係会社株式の売却による収入	465	85
事業譲受による支出	－	△303
その他	52	△191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△677	1,231
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	10	0
配当金の支払額	△148	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137	△327
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	94
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,132	428
現金及び現金同等物の期首残高	7,423	9,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,555	9,628

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	ソーシャルネット事業	Find Job ！事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,159	729	9,888	33	9,922	－	9,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	0	6	24	31	△31	－
計	9,166	729	9,895	57	9,953	△31	9,922
セグメント利益又は損失（△）	3,535	598	4,133	△133	3,999	△1,657	2,342

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スマートフォンアプリの開発や米国における市場調査を行う事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,657百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ソーシャルネット事業	Find Job ！事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,194	609	5,803	554	6,357	－	6,357
セグメント間の内部売上高又は振替高	50	1	52	56	109	△109	－
計	5,245	610	5,856	611	6,467	△109	6,357
セグメント利益又は損失（△）	1,002	472	1,474	△442	1,031	△1,541	△509

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネットリサーチや結婚支援事業、その他新規事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,541百万円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

４．株式会社kamadoについては、従来、報告セグメントに含めておりませんでしたが、事業形態の変更に伴い、第１四半期連結会計期間より「ソーシャルネット事業」に区分変更しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社	合計
	ソーシャルネット事業	Find Job ！事業	計			
減損損失	71	－	71	－	－	71

（注）ソーシャルネット事業の減損損失は、株式会社ミクシィの地方拠点を閉鎖する意思決定を行ったこと、並びに上海蜜秀網絡科技有限公司及び上海明希網絡科技有限公司を清算する意思決定を行ったことに伴うものであります。

（のれんの金額の重要な変動）

「その他」において、当第３四半期連結会計期間に、株式会社Diverse及び株式会社コンフィアンザの株式を取得し新たに連結子会社としたこと、また、連結子会社である株式会社ミクシィ・リサーチがミステリーショッピングサービス「ショッパーズ・アイ」を事業取得したことに伴い、のれんが940百万円増加しております。なお、当第３四半期連結累計期間における、のれんの償却額は82百万円、未償却残高は1,036百万円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。